

単位：千円/年

病床規模	200～499床		～199床		
	7	8	9	10	11
予防的投入コスト・非人件費(合計額)	75,684	16,113	289,839	16,833	103,618
<内訳>					
医療安全確保を目的とした院内研修に関する費用	11,104	390	5,767	1,846	710
：招聘講師費用等(非人件費)	515	56	2,166	295	300
：人件費(機会費用)*	10,589	335	3,600	1,551	410
医療安全確保を目的とした院外研修に関する費用	1,756	2,005	16,791	6,993	1,106
：参加費用等(非人件費)	1,010	410	7,981	6,087	1,000
：人件費(機会費用)*	746	1,594	8,810	906	106
医療安全に配慮した器材にかかる費用	0	4,820	66,144	262	5,527
医療安全に配慮した医療機器・設備にかかる費用	0	4,989	56,315	50	35,073
誤薬・汚染防止を目的とした薬剤にかかる費用	20,055	△ 7,296	124,577	0	35,278
自己注射に伴う過量投与防止を目的とした薬剤にかかる費用	46	0	730	0	0
職業感染予防のための費用	5,924	223	1,605	1,618	396
病院が被保険者等となって負担した、賠償責任保険の保険料に要する費用	23,077	5,643	5,848	2,004	24,295
産業廃棄物処理にかかる外部委託費用	24,900	6,835	24,424	6,516	1,671
感染性医療廃棄物処理のために特別に設置した機器や設備にかかる費用	-	433	-	-	-
医療安全活動にかかる施設内での専有スペースの使用に関する費用	157	-	50	0	78

* 表Ⅲ-6では、研修費用の内訳のうち、人件費(機会費用)については、予防的投入コスト(非人件費)として計算対象になっていない。

しかし、非人件費の内容について、さらに詳細にみていくと、「医療安全に配慮した器材にかかる費用」、「医療安全に配慮した医療機器・設備にかかる費用」、ならびに「誤薬・汚染防止を目的とした薬剤にかかる費用」および「自己注射に伴う過量投与防止を目的とした薬剤にかかる費用」の薬剤関連費用に対し、病院ごとにそれぞれの費目について金額の多寡の特徴があるにせよ、非人件費の金額の多くがこれらの費目に集中していることが分かる。

また、詳しくは後ほど述べるが、これらのコストは、データ収集上、その金額や内容を捉えていくうえで、例えばITを利用した当該コストにかかるデータの自動集計システム等を利用しない限り、薬剤の購入単価やその使用数量の把握等、通常の病院運営下の作業環境では、詳細なデータの収集は実務的に難しいと考えられる。

したがって、非人件費における当該コストの占める割合が高いことに加え、各病院のデータ収集環境が全く異なるであろうことを併せて考慮すれば、病院間のデータ比較を行うという観点からは、非人件費と比べ、相対的に人件費の方が、収集データの安定性と信頼性という意味で優れているとみられる。

3.1 予防的投入コスト（人件費）の内訳費目

この内容については、表Ⅲ-5を参照。

3.2 防的投入コスト（非人件費）の内訳費目

この内容については、表Ⅲ-6を参照。

表Ⅲ-5（人件費）および表Ⅲ-6（非

人件費）をみると、人件費と比較して、非人件費の方が、相対的にゼロ回答が多く見受けられ、病院によってその費消状態にバラつきがみられる。

3.2.1 医療安全に配慮した器材にかかる費用

表Ⅲ-4および表Ⅲ-6の非人件費のうちで「医療安全に配慮した医療機器・設備にかかる費用」、ならびに「誤薬・汚染防止を目的とした薬剤にかかる費用」および「自己注射に伴う過量投与防止を目的とした薬剤にかかる費用」の薬剤関連費用とともに、突出した金額を示していた「医療安全に配慮した器材にかかる費用」について、その内訳を示したのが表Ⅲ-7である。

表Ⅲ-7をみると、病床規模が大きい病院ほど比較的多額の費用を投入している様子がうかがえるが、その内訳については、各病院によって費消状況が全く異なっているといえる。

3.2.2 医療安全に配慮した医療機器・設備にかかる費用

次に、「医療安全に配慮した器材にかかる費用」と同様に、非人件費のうちで「誤薬・汚染防止を目的とした薬剤にかかる費用」および「自己注射に伴う過量投与防止を目的とした薬剤にかかる費用」の薬剤関連費用とともに、同じく突出した金額を示していたのが、「医療安全に配慮した医療機器・設備にかかる費用」である。（表Ⅲ-8を参照。）

表Ⅲ-7および表Ⅲ-8のいずれにしろ、病院によって、多額の費用を計上しているところと、そうでないところのバラつきが顕著であり、とりわけゼロ回答をしている項目が目につく。

表Ⅲ－ 7 医療安全に配慮した器材にかかる費用の内訳費目 (n=11)

単位：千円/年

病 床 規 模	500床～						
	病 院 No.	1	2	3	4	5	6
内訳/合計額		322,241	100,062	167,805	32,707	165,688	1,426
:リストバンド類		0	2,016	2,582	0	0	1,440
:シリンジ、チューブ、コネクタ類		159,111	20,789	58,537	62	38,521	0
:針刺し事故防止用針		0	28,153	18,973	0	55,599	△ 154
:グローブ		41,562	7,556	24,712	7,745	14,755	△ 207
:マスク、ゴーグル等		11,007	1,950	3,270	8,494	4,571	191
:ガウン・エプロン類		15,294	9,130	7,222	14,918	27,531	0
:消毒・洗浄剤類(手洗い用)		95,173	30,468	1,960	1,487	24,712	156
:その他の安全器材		93	0	50,529	0	0	0

病 床 規 模	200～499床		～199床			
	病 院 No.	7	8	9	10	11
内訳/合計額		0	4,820	66,144	262	5,527
:リストバンド類		0	0	536	7	3
:シリンジ、チューブ、コネクタ類		0	551	4,156	△ 27	123
:針刺し事故防止用針		0	2,899	10,558	0	1,043
:グローブ		0	78	31,699	0	698
:マスク、ゴーグル等		0	12	3,137	0	1,497
:ガウン・エプロン類		0	1,045	6,952	0	735
:消毒・洗浄剤類(手洗い用)		0	0	9,107	0	672
:その他の安全器材		0	234	0	282	756

表Ⅲ-8 医療安全に配慮した医療機器・設備にかかる費用の内訳費目 (n=11)

単位：千円/年

病床規模	500床～					
	病院 No.	1	2	3	4	5
内訳/合計額	9,791	0	72,957	51,833	31,094	0
:輸液ポンプ、シリンジポンプ類等	7,479	0	154	16,100	13,850	0
:ITを活用した安全機器・設備類	720	0	63,448	21,600	17,184	0
:マット類、その他	1,592	0	9,354	14,133	60	0

病床規模	200～499床		～199床		
	病院 No.	7	8	9	10
内訳/合計額	0	4,989	56,315	50	35,073
:輸液ポンプ、シリンジポンプ類等	0	4,510	52,475	50	465
:ITを活用した安全機器・設備類	0	0	0	0	32,592
:マット類、その他	0	480	3,840	0	2,016

今回のアンケート調査では、医療機器・設備や器材、薬剤にかかる予防コストについては、B. 研究方法の8. 医療安全確保のための予防的活動にかかる投入コストの算出方法（具体的には、文末の補足資料2を参照。）のところで既に触れたように、調査対象年度である平成18年度（あるいはそれ以前の年度）に、医療安全確保を目的として特に使用したものと、安全に配慮したものに変更する以前に使用していたもの（平成18年度以前より安全に配慮した薬剤を使用の場合は、変更後のデータについては、平成18年度分データを採用）との金額の差額を計上している。

これは、当該差額が医療安全への配慮を行うことによって増えたコストであるとみられるからである。

但し、機器・設備や器材については、原則、日本医療機材工業会による医療事故対策適合品マークが貼付された製品をもって、医療安全に配慮した製品と判断するものとしたが、これはすべてのものに貼付されているわけではない。

したがって、他の病院で医療安全確保を目的として導入した器材や医療機器・設備であっても、当該病院ではそれがルーチンのものであるとして判断され、今回のアンケート調査にコスト計上されていないケースも可能性として考えられることに留意する必要がある。

4. 有効回答病院の医療安全確保のための 予防的投入コストにかかる経営 指標

病院における医療安全確保のための予防的投入コストと、その内訳のうち重要な位置づけを占めるとみられる人件費の概況について、有効回答病院の損益計算書（病院会計準則ベース）にもとづく財務データとの関係から、以下みていくことにする。

4. 1 病床規模別・医療安全確保にか かる予防的投入コスト

(1) 予防的投入コストが医業費用に占め る割合（年間ベース）

これは、1年間に発生した予防的投入コストを、損益計算書における医業費用で除したもので、医業費用に対する年間・予防的投入コストの割合を示している。

図Ⅲ-1および表Ⅲ-9をみると、一見、各病床規模においてデータにバラつきがみられるが、500床超～1000床規模である病院No.2～5をみると、4%弱～6%強の比較的狭い範囲に分布している。

また、病院No.9（5.85%）およびNo.11（9.16%）を外れ値として、100床超～500床超規模の病院No.6～8および病院No.10をみれば、これらも1%弱～1%強の比較的狭い範囲内に分布しているといえる。

中小の民間病院の場合、病院経営者のその時々の経営方針や考え方によって、当該病院における医療安全管理活動の内容が決定するという側面を考慮すれば、このような外れ値の分布も理解できるものといえる。

（このことは、これ以降扱う経営指標のグラフ等において比較よく観察される。）

したがって、図Ⅲ-1および表Ⅲ-9か

らは、500床超の大規模病院の方が、500床未満の中小規模病院よりも、医業費用に占める予防的投入コストの割合が高くなっている可能性が示唆される。

(2) 1床あたり年間・医療安全確保にか かる予防的投入コスト

次は具体的な金額であるが、図Ⅲ-2および表Ⅲ-10をみると、さきほどの医業費用対予防的投入コストの場合と同様、500床超～1000床規模である病院No.2～5において、1,000千円前後の一定の狭い範囲内で同じように分布している。

また、病院No.9（2,082千円）およびNo.11（2,963千円）を外れ値として、100床超～500床超規模である病院No.6～10をみると、200千円弱～300千円強の範囲で分布しており、1,000床超規模の病院No.1もこれらに近い300千円強の金額を示している。

(3) 1床あたり1ヶ月平均・医療安全確 保にかかる予防的投入コスト

これは、さきほどの「病床規模別1床あたり年間・医療安全確保にかかる予防的投入コスト」を12ヶ月で除したものである。

図Ⅲ-3をみると、病院No.2～5の500床超～1000床規模において、80～90千円前後の狭い範囲に分布しており、病院No.9（174千円）およびNo.11（247千円）を除く残りについても、100床超～500床超規模の病院No.6～10および1,000床超規模の病院No.1において、10千円強～30千円強の範囲で分布している。

(4) 100床あたり年間・医療安全確保に かかる予防的投入コスト

これは、前出の図Ⅲ-2および表Ⅲ-10「病床規模別1床あたり年間・予防的投入コスト」に100床を乗じたものである。

図Ⅲ-4では、病院 No.2~5 の500床超~1000床規模において、100百万円弱~110百万円強の金額で分布しており、病院 No.9 (208千円) および No.11 (296千円) を除く残りについても、病院 No.6~10 の100床超~500床超規模および1,000床超規模の病院 No.1において、10千円強~30千円強の範囲で分布している。

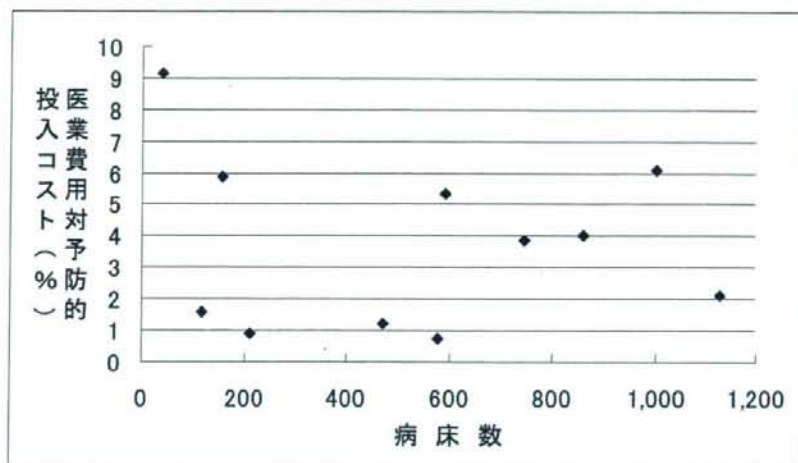
(5) 100床あたり1ヶ月平均・医療安全確保にかかる予防的投入コスト

これは、図Ⅲ-4「病床規模別100床あ

たり年間・予防的投入コスト」を12ヶ月で除したものである。

図Ⅲ-5では、病院 No.2~5 の500床超~1000床規模において、8百万円弱~9百万円強の金額の範囲で分布しており、病院 No.9 (17.4百万円) および No.11 (24.7百万円) を除く残りについても、病院 No.6~10 の100床超~500床超規模および1,000床超規模の病院 No.1において、1百万円強~3百万円強の範囲で分布している。

図Ⅲ-1 病床規模別 医業費用対予防的投入コスト (単位: %)



表Ⅲ-9 病床規模別 医業費用対予防的投入コスト (単位: %)

病床規模	500床~						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
医業費用対予防的投入コスト(%)		2.11	6.07	4.04	3.85	5.37	0.72

病床規模	200~499床		~199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
医業費用対予防的投入コスト(%)		1.23	0.92	5.85	1.61	9.16

(6) 1日1床あたり医療安全確保にかかる予防的投入コスト

これは、図Ⅲ-2および表Ⅲ-10「病床規模別 1床あたり年間・予防的投入コスト」を365日で除したものである。

図Ⅲ-6および表Ⅲ-11では、病院 No.2～5の500床超～1000床規模において、2,000円強～3,000円前後の金額の範囲で分布している。

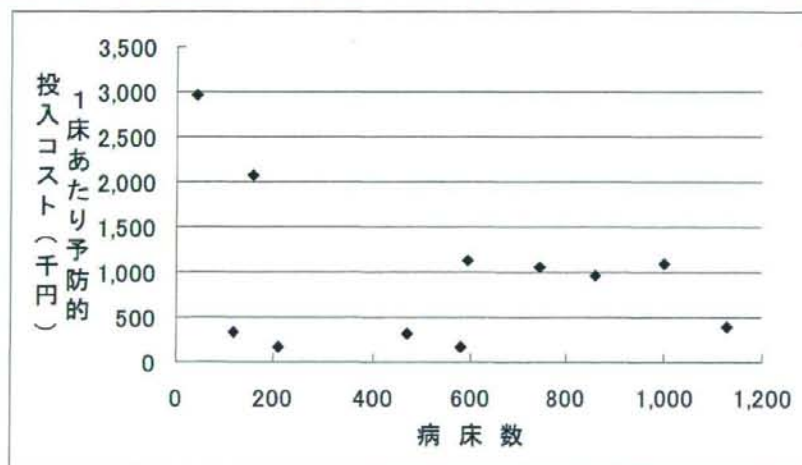
また、金額が突出している病院 No.9 (5,705円) および No.11 (8,117円) を除く残りについても、病院 No.6～10の100

床超～500床超規模および1,000床超規模の病院 No.1において、500円弱～1,000円強の範囲で分布している。

(7) 1日100床あたり医療安全確保にかかる予防的投入コスト

これは、図Ⅲ-6および表Ⅲ-11「病床規模別 1日1床あたり予防的投入コスト」に100床を乗じたものである。図Ⅲ-7では、病院 No.2～5の500床超～1000床規模において、200千円強～300千円前後の金額の範囲で分布している。

図Ⅲ-2 病床規模別 1床あたり年間・予防的投入コスト (単位：千円)

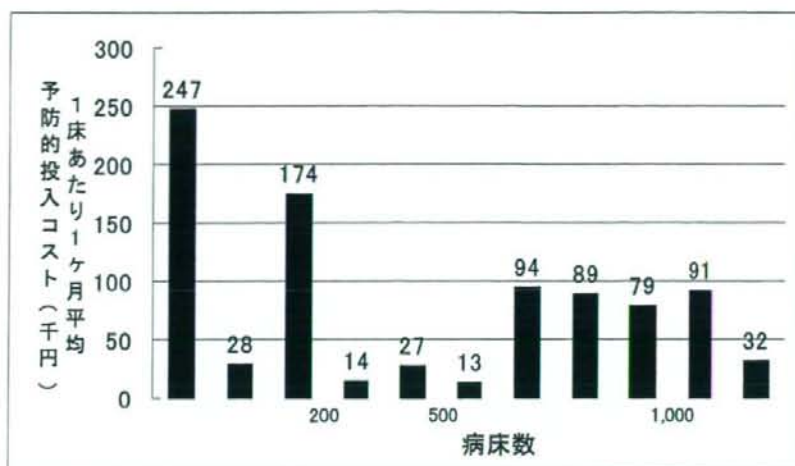


表Ⅲ-10 病床規模別 1床あたり年間・予防的投入コスト (単位：千円)

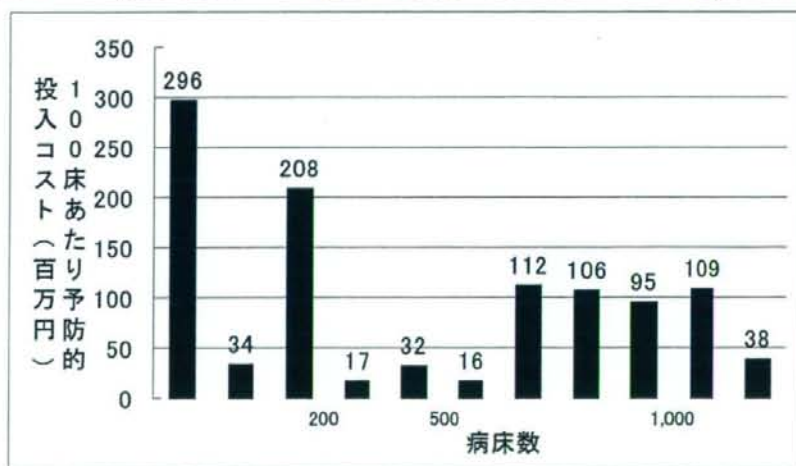
病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
1床あたり年間・予防的投入コスト(千円)		383	1,094	954	1,064	1,124	160

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
1床あたり年間・予防的投入コスト(千円)		323	172	2,082	341	2,963

図Ⅲ-3 病床規模別 1床あたり1ヶ月平均・予防的投入コスト (単位：千円)



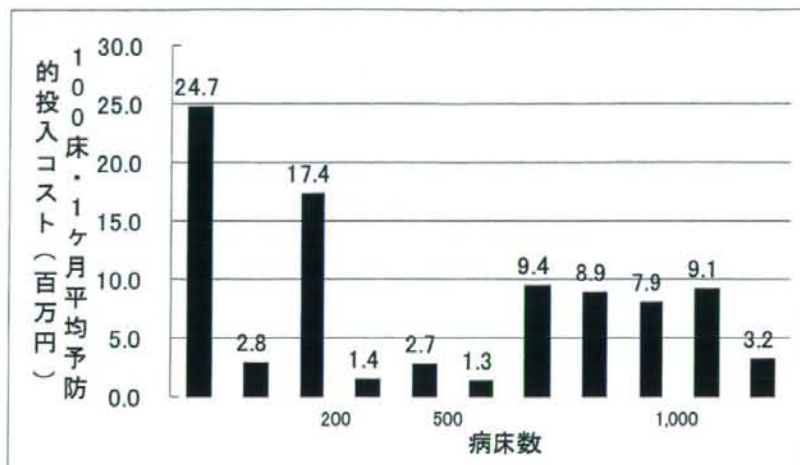
図Ⅲ-4 病床規模別 100床あたり年間・予防的投入コスト (単位：百万円)



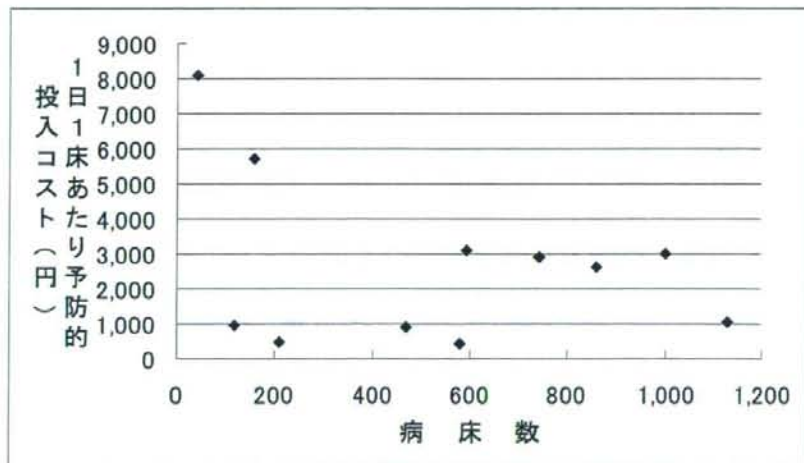
また、金額が突出している病院 No.9 (571 千円) および No.11 (812 千円) を除く残りについても、病院 No.6~10 の 100 床超

~500 床超規模および 1,000 床超規模の病院 No.1 において、50 千円弱~100 千円強の範囲で分布している。

図Ⅲ-5 病床規模別 100床あたり1ヶ月平均・予防的投入コスト
(単位：百万円)



図Ⅲ-6 病床規模別 1日1床あたり予防的投入コスト (単位：円)

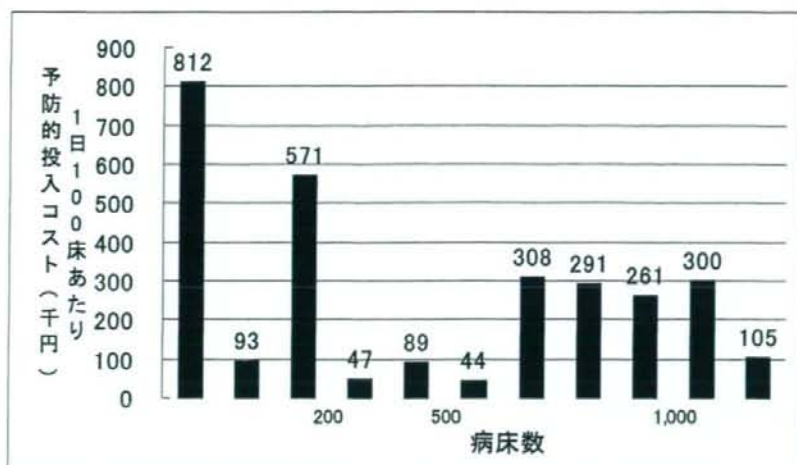


表Ⅲ-11 病床規模別 1日1床あたり予防的投入コスト (単位：円)

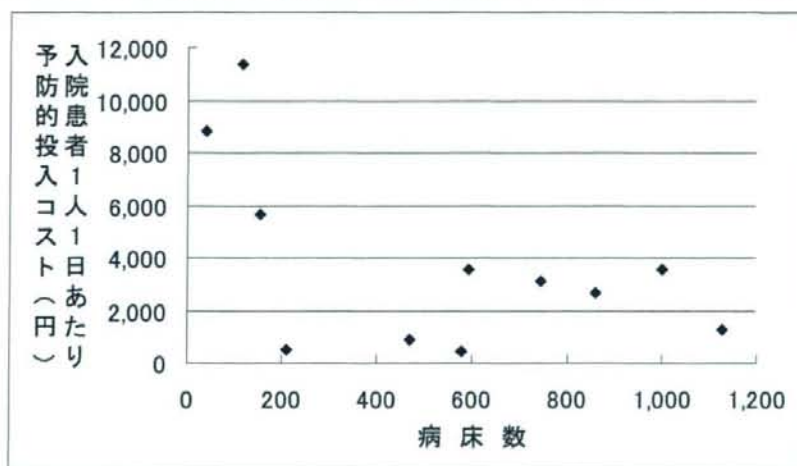
病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
1日1床あたり予防的投入コスト(円)		1,050	2,998	2,614	2,914	3,078	439

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
1日1床あたり予防的投入コスト(円)		885	470	5,705	934	8,117

図Ⅲ-7 病床規模別 1日100床あたり予防的投入コスト (単位:千円)



図Ⅲ-8 病床規模別 入院患者1人1日あたり予防的投入コスト (単位:円)



表Ⅲ-12 病床規模別 入院患者1人1日あたり予防的投入コスト (単位:円)

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
入院患者1人1日あたり予防的投入コスト(円)		1,299	3,565	2,674	3,085	3,577	457

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
入院患者1人1日あたり予防的投入コスト(円)		900	525	5,654	11,345	8,852

(8) 入院患者1人1日あたり医療安全確保にかかる予防的投入コスト

これは、有効回答病院別に、年間・予防的投入コストを年間入院延べ患者数で除したものである。

図Ⅲ-8 および表Ⅲ-12 をみると、500床超～1000床規模の4病院 No.2～5において、2,000円台半ば～3,000円台半ば付近の範囲で分布している。

また、金額が突出している3病院 No.9 (5,654円)、No.10 (11,345円) および No.11 (8,852円) を除き、1,000床超規模の病院 No.1、および100床超～500床超規模の3病院 No.6～8 およびの計4病院において、400円台半ば～1,000円強の範囲で分布している。

4. 2 医療安全管理人件費

(1) 医療安全管理人件費が予防的投入コストに占める割合(年間ベース)

これは、1年間に発生した予防的投入コスト(年間・予防的投入コスト)のうち人件費に該当するもの(医療安全管理人件費)を年間・予防的投入コスト全体で除したもので、年間・予防的投入コストに対する医療安全管理人件費の割合を示している。

図Ⅲ-9 および表Ⅲ-13 をみると、病院 No.1～5、No.9 および No.11 の7病院において、病床規模を問わず、10%弱～10%強の狭い範囲で分布している。

一方、残りの4病院 No.6～8 および No.10 についても、同様に、50%強～60%強の比較的狭い範囲で分布している。

したがって、500床超の大規模病院では、医療安全管理人件費が予防的投入コストに占める割合は低く、一方、500床未満の中

小規模病院では、逆に、比較的高い傾向を示している。

(2) 医療安全管理人件費が給与費に占める割合(年間ベース)

これは、1年間に発生した医療安全管理人件費を、損益計算書における給与費で除したもので、給与費に対する年間・医療安全管理人件費の割合を示している。(図Ⅲ-10 および表Ⅲ-14 を参照。)

11病院全体として、0.5%～2%の狭い範囲で分布している。

(3) 医療安全管理人件費が総費用に占める割合(年間ベース)

これは、1年間に発生した医療安全管理人件費を、損益計算書における医業費用で除したもので、医業費用に対する年間・医療安全管理人件費の割合を示している。

図Ⅲ-11 および表Ⅲ-15 では、給与費対医療安全管理人件費と同様、11病院全体として1%弱～2%弱の狭い範囲で分布している。

(4) 1床あたり年間・医療安全管理人件費

これは、1年間に発生した予防的投入コストのうち人件費に該当するもの(医療安全管理人件費)を有効回答病院の病床数(稼働病床数)で除したものである。

図Ⅲ-12 および表Ⅲ-16 をみると、外れ値とみられる病院 No.11 (372千円)を除く、残りの10病院 No.1～No.10の全体において、50千円強～200千円強の金額の範囲でおおむね分布している。

(5) 1床あたり1ヶ月平均・医療安全管理人件費

図Ⅲ-13 では、1ヶ月あたりに発生する、1床あたりの医療安全確保に向けた予防的

活動にかかる平均的な人件費の金額を示しており、各病院の1床あたりの年間・医療安全管理人件費を12ヶ月で除することによって算出している。

図Ⅲ-13では、病院No.11の金額(31千円)が比較的高い数値をみせており、その他の10病院については、バラつきがみられるものの、おおむね5千円弱～20千円弱の金額の範囲で分布している。

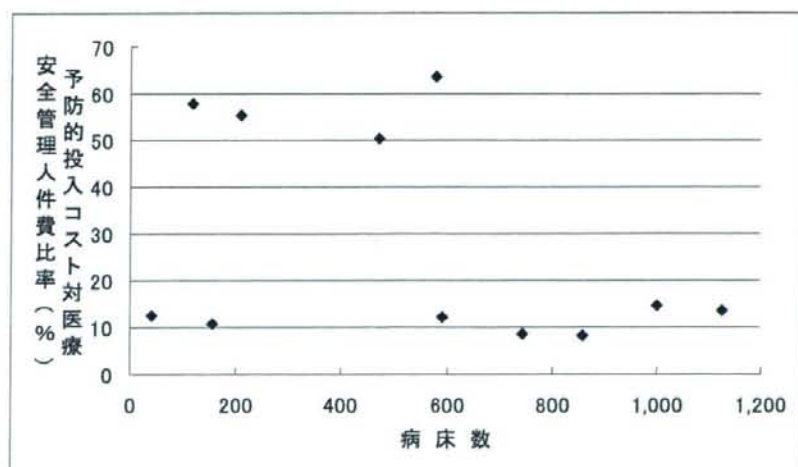
(6) 100床あたり年間・医療安全管理人件費

図Ⅲ-14は、1年間に発生する、100床

あたりの医療安全確保に向けた予防的活動にかかる平均的な人件費の金額を示しており、有効回答病院の1床あたりの年間・医療安全管理人件費に100床を乗じることによって算出している。

図Ⅲ-14では、病院No.11の金額(37.2百万円)が突出しており、その他の10病院については、バラつきがみられるものの、おおむね5百万円強～20百万円前後の金額の範囲に分布している。

図Ⅲ-9 病床規模別 予防的投入コスト対医療安全管理人件費 (単位：%)

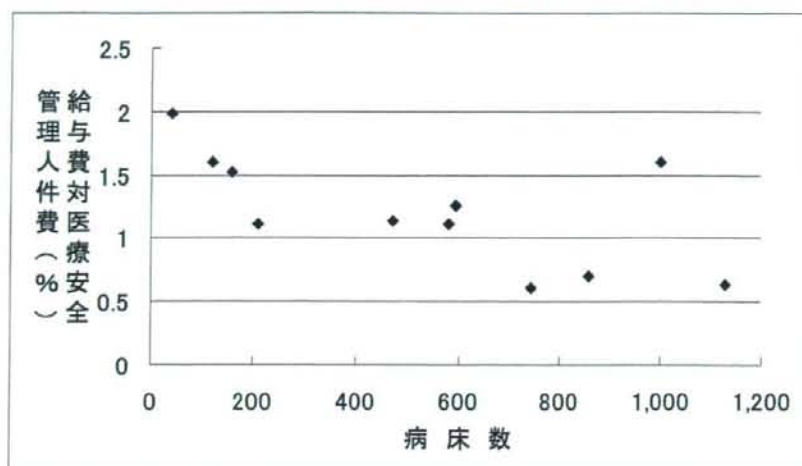


表Ⅲ-13 病床規模別 予防的投入コスト対医療安全管理人件費 (単位：%)

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
予防的投入コスト対医療安全管理人件費 (%)		13.6	14.8	8.3	8.4	12.1	63.5

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
予防的投入コスト対医療安全管理人件費 (%)		50.3	55.3	10.8	57.8	12.6

図Ⅲ-10 病床規模別 給与費対医療安全管理人件費 (単位：%)



表Ⅲ-14 病床規模別 給与費対医療安全管理人件費 (単位：%)

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
給与費対医療安全管理人件費 (%)		0.64	1.60	0.70	0.61	1.26	1.11

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
給与費対医療安全管理人件費 (%)		1.14	1.11	1.52	1.60	1.99

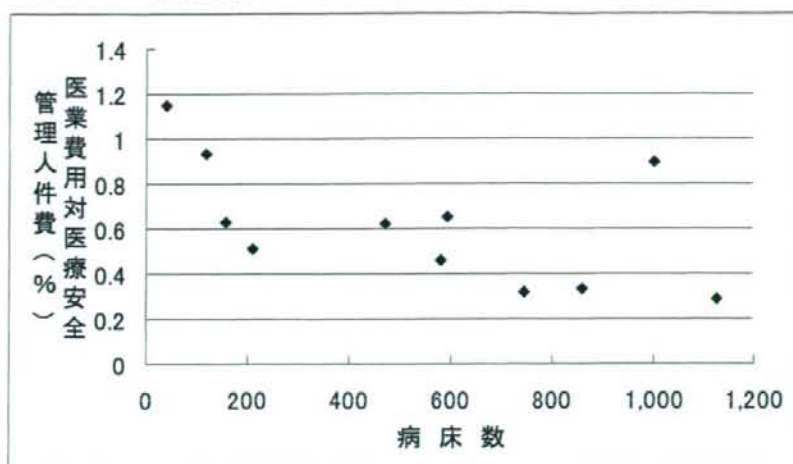
(7) 100床あたり1ヶ月平均・医療安全管理人件費

図Ⅲ-15では、1ヶ月あたりに発生する、100床あたりの医療安全確保に向けた予防的活動にかかる平均的な人件費の金額を示しており、有効回答病院の100床あたりの年間・医療安全管理人件費を12ヶ月で除す

ることによって算出している。

図Ⅲ-15では、病院No.11の金額(3.1百万円)が他と比較して高い数値をみせており、その他の10病院については、バラつきがみられるものの、おおむね0.5百万円弱～2百万円弱の金額の範囲に分布している。

図Ⅲ-11 病床規模別 医業費用対医療安全管理人件費（単位：％）



表Ⅲ-15 病床規模別 医業費用対医療安全管理人件費（単位：％）

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
医業費用対医療安全管理人件費(%)		0.29	0.90	0.33	0.32	0.65	0.46

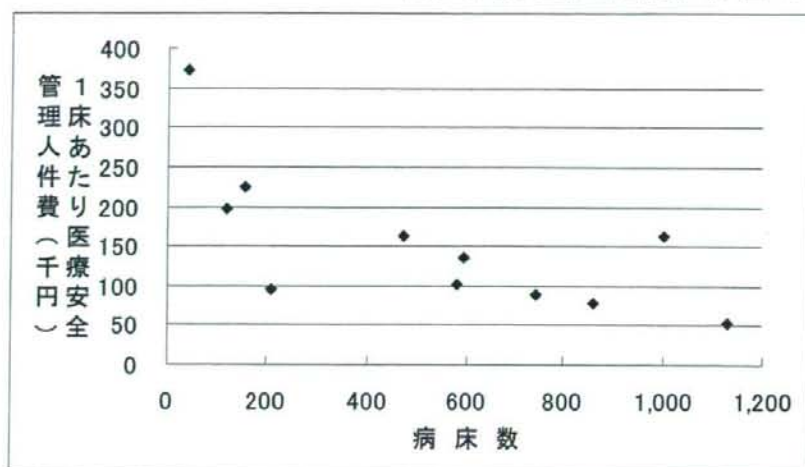
病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
医業費用対医療安全管理人件費(%)		0.62	0.51	0.63	0.93	1.15

(8) 1日1床あたり医療安全管理人件費
 図Ⅲ-16 および表Ⅲ-17 では、1日あたりに発生する、1床あたりの医療安全確保に向けた予防的活動にかかる平均的な人件費の金額を示しており、有効回答病院の1床あたりの年間・医療安全管理人件費を365日で除することによって算出している。

図Ⅲ-16 および表Ⅲ-17 では、病院

No.11の金額(1,020円)が突出しており、その他については、バラつきがみられるものの、おおむね100円強～600円強の金額の範囲に分布しており、とりわけ200床～1,000床規模の8病院No.2～No.8については、200円強～400円台前半の比較的狭い範囲の中に分布している。

図Ⅲ-12 病床規模別 1床あたり年間・医療安全管理人件費（単位：円）



表Ⅲ-16 病床規模別 1床あたり年間・医療安全管理人件費（単位：千円）

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
1床あたり年間・医療安全管理人件費(千円)		52	162	79	89	136	102

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
1床あたり年間・医療安全管理人件費(千円)		162	95	224	197	372

(9) 1日100床あたり医療安全管理人件費

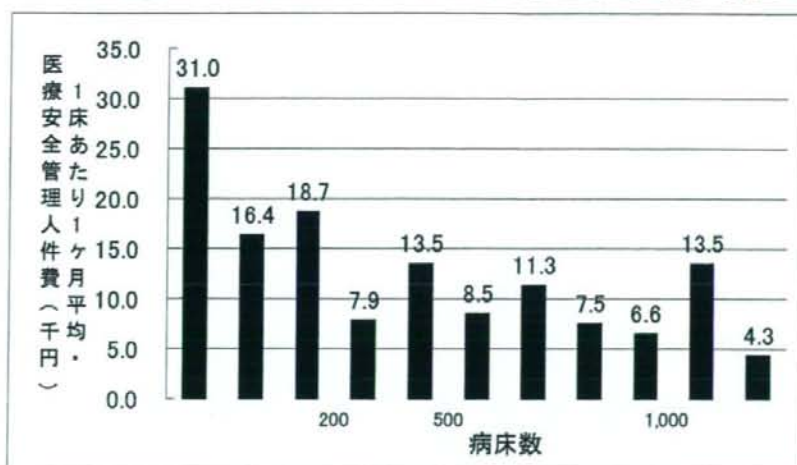
図Ⅲ-17は、1日あたりに発生する、100床あたりの医療安全確保に向けた予防的活動にかかる平均的な人件費の金額を示しており、1日あたりの医療安全管理人件費に100床を乗じることによって算出している。

図Ⅲ-17では、病院No.11の金額(102

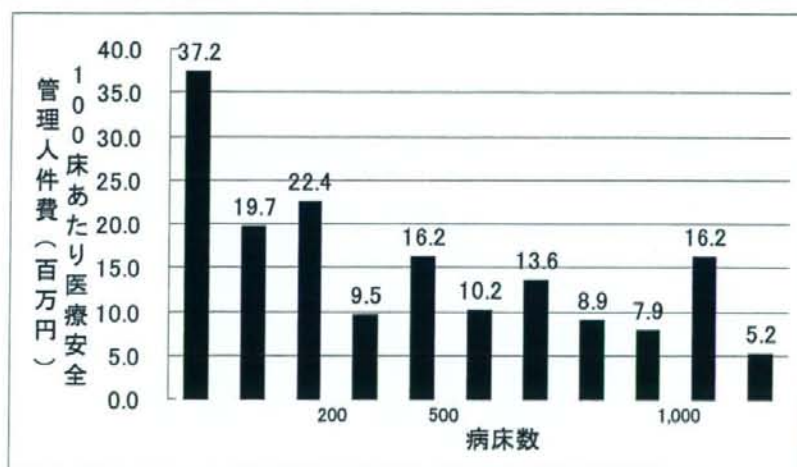
千円)が他と比較し高い数値をみせており、その他の11病院については、10千円台半ば～60千円台前半の金額の範囲でバラつきをみせている。

とりわけ200床～1,000床規模の7病院No.2～No.8については、20千円台前半～40千円台半ば付近の比較的狭い範囲の中に分布している。

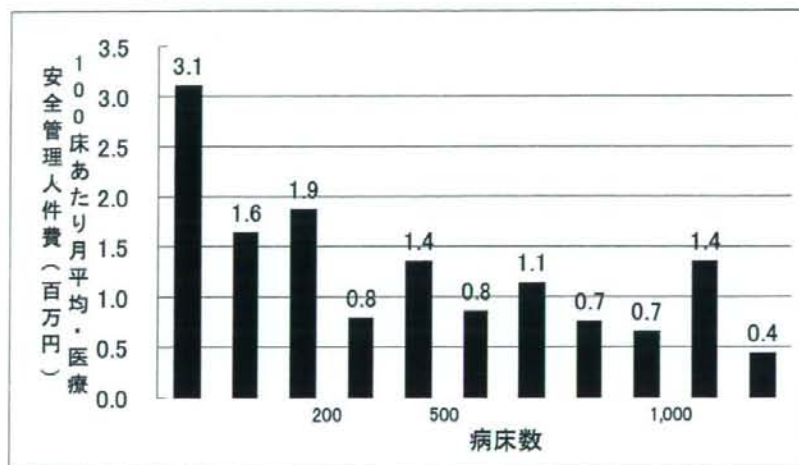
図Ⅲ-13 病床規模別 1床あたり1ヶ月平均・医療安全管理人件費（単位：千円）



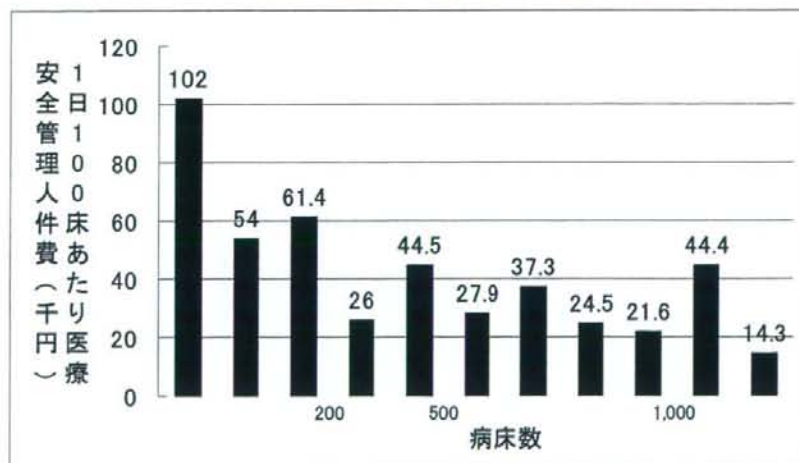
図Ⅲ-14 病床規模別 100床あたり年間・医療安全管理人件費（単位：百万円）



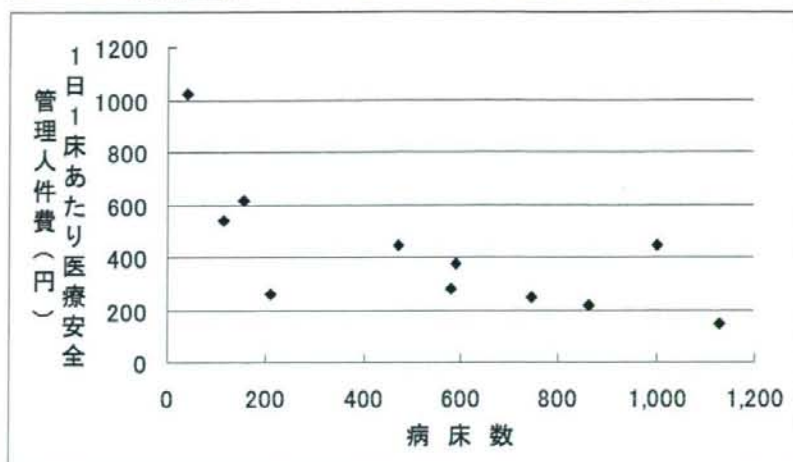
図Ⅲ-15 病床規模別 100床あたり1ヶ月平均・医療安全管理人件費
(単位：百万円)



図Ⅲ-17 病床規模別 1日100床あたり医療安全管理人件費(単位：千円)



図Ⅲ-16 病床規模別 1日1床あたり医療安全管理人件費（単位：円）



表Ⅲ-17 病床規模別 1日1床あたり医療安全管理人件費（単位：円）

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
1日1床あたり医療安全管理人件費(円)		143	444	216	245	373	279

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
1日1床あたり医療安全管理人件費(円)		445	260	614	540	1,020

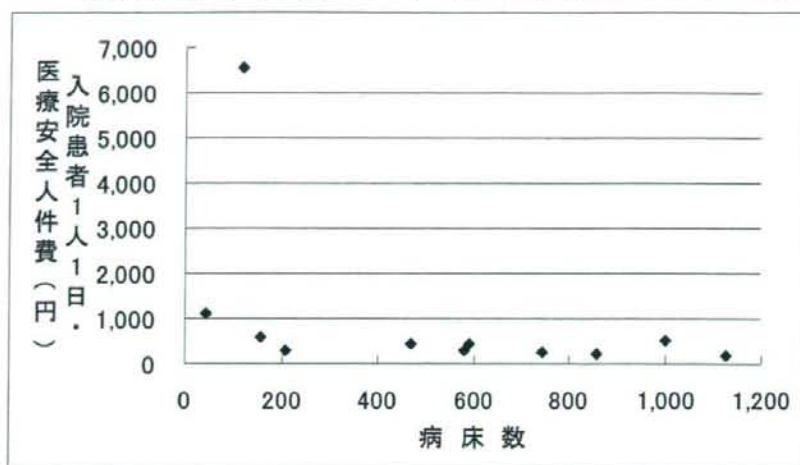
(10) 入院患者1人1日あたり医療安全管理人件費

図Ⅲ-18 および表Ⅲ-18 では、入院患者1人あたりに発生する、1日あたりの医療安全確保に向けた予防的活動にかかる平均的な人件費の金額を示しており、年間・医療安全管理人件費を年間入院延べ患者数で除して算出している。

図Ⅲ-18 および表Ⅲ-18 では、病院

No.10の金額(6,067円)が突出して高い数値をみせているが、その他の10病院については、200円弱～1,000円前半半の金額の範囲でバラつきをみせている。とりわけ200床～800床規模の6病院No.3～No.8については、200円前半半～400円台半ば付近の比較的狭い範囲の中に分布している。

図Ⅲ-18 病床規模別 入院患者1人1日あたり医療安全管理人件費（単位：円）



表Ⅲ-18 病床規模別 入院患者1人1日あたり医療安全管理人件費（単位：円）

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
入院患者1人1日あたり医療安全管理人件費(円)		177	528	221	259	433	290

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
入院患者1人1日あたり医療安全管理人件費(円)		453	290	609	6,057	1,113

4. 3 病床規模別・医療安全確保にかかる予防的投入コストの対医業収益比

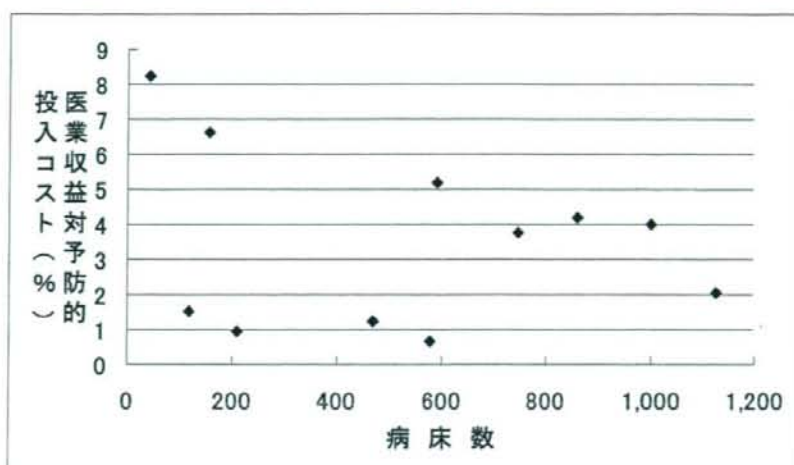
(1) 医療安全確保にかかる予防的投入コストが医業収益に占める割合(年間ベース)

これは、有効回答病院で1年間に発生した予防的投入コストを、損益計算書における医業収益で除したもので、医業収益に対する1年間あたりの医療安全確保に向けた

予防的活動にかかるコストの金額全体の割合を示している。(両者とも平成18年度データ)

図Ⅲ-19 および表Ⅲ-19 では、病院No.9 (6.61%) および病院No.11 (8.25%) の2病院が、比較的高い数値をみせているが、その他残りの9病院については、1%前後～5%台前半の数値の範囲でバラつきをみせている。

図Ⅲ-19 病床規模別 医業収益対予防的投入コスト (単位：%)



表Ⅲ-19 病床規模別 医業収益対予防的投入コスト (単位：%)

病床規模	500床～						
	病院 No.	1	2	3	4	5	6
医業収益対予防的投入コスト (%)		2.05	4.02	4.20	3.76	5.18	0.69

病床規模	200～499床		～199床			
	病院 No.	7	8	9	10	11
医業収益対予防的投入コスト (%)		1.23	0.96	6.61	1.51	8.25

(2) 医療安全管理人件費が医業収益に占める割合 (年間ベース)

これは、有効回答病院で1年間に発生した医療安全管理人件費を、損益計算書における医業収益で除したもので、医業収益に対する1年間あたりの医療安全確保に向けた予防的活動にかかる人件費の金額の割合を示している。(両者とも平成18年度データ；図Ⅲ-20および表Ⅲ-20を参照。)

図Ⅲ-20の散布図ではデータの散らばりがみられるものの、全体としては、1%前後からそれ以下の狭い範囲で分布している。